

八幡小学校



国道14号線ごうぞいから八幡小学校方面のようす
やわた ほうめん
しょうわ
(昭和30年ごろ・70年くらい前)



国道14号線ぞいから八幡小学校方面のようす
(令和元年)



70年～80年前



50年くらい前



今のようす

つかむ

(1) かわってきた市川市

市川駅えきのまわり
のようすは、どの
ようにかわってきた
のでしょうか。

たくやくんたちは、市川駅しやの古い写
真しんを見くらべて、気づいたことを話し
合いました。



むかし もの
昔は高いたて物が
なかったんだね。

車や歩いている人の服ふくそう
も、今のようすとはだいぶ
ちがうね。着物きものを着ている人
も写うつっているよ。

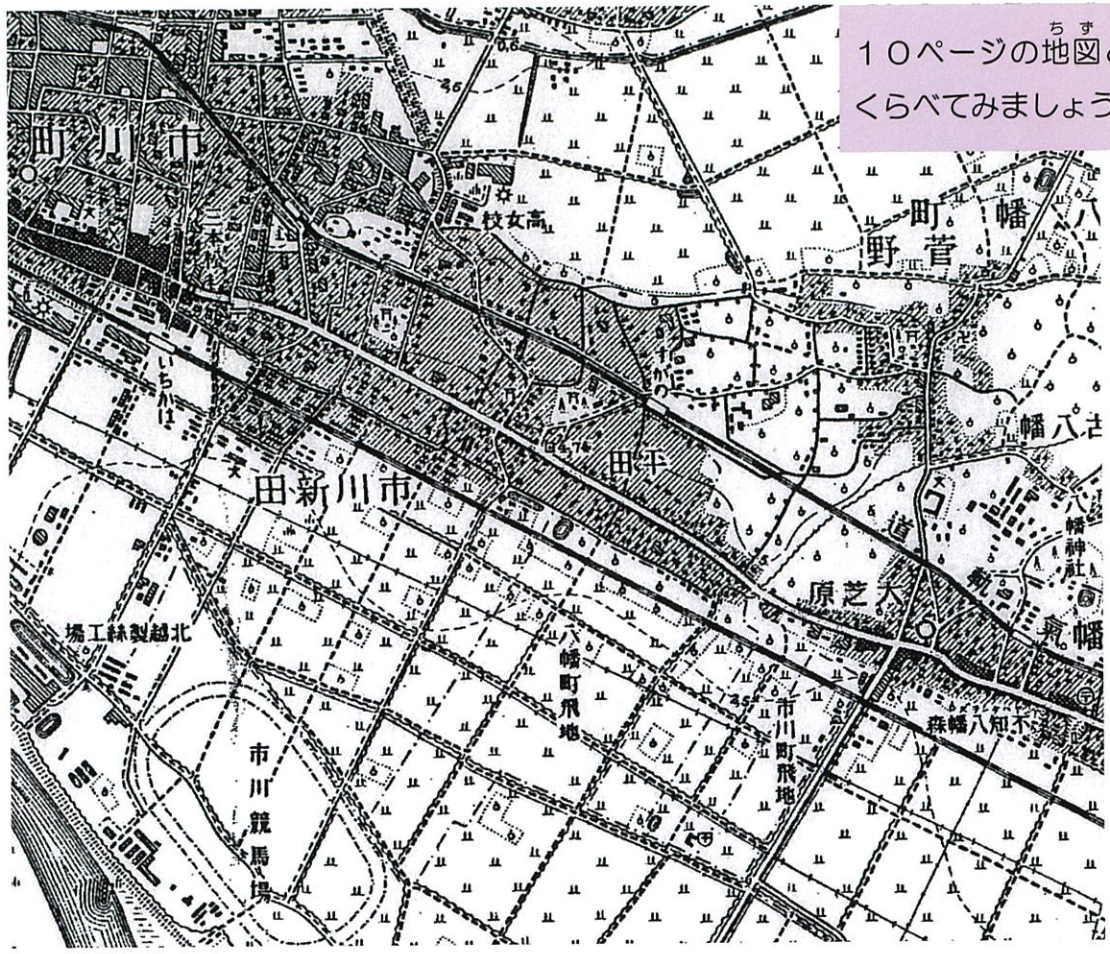


駅だけでなく、市川市全体の
ようすも、今と昔では大きくか
わってきているんじゃないかな。

もっとまわりのよう
すも見てみたいな。



地図を使って、当時のようすをもっとよく調しらべてみ
ることにしました。



ちす
10ページの地図とくらべてみましょう。

昭和7年・90年くらい前のようす（国土地理院）
※ 田は、水田を表す昔の地図記号です。



駅の南がわや市の北の方には、水田が広がっていたんだね。今では見かけないね。

今のようにたくさんの方が住むようになったのは、何かきっかけがあったのかな。



わたしたちのくらす市川市は、いつごろ、どのようにかわってきたのだろう。

よそう・けいかく

教科書を参考に
して、計画をたて
ましょう。

どのようなことを調べればよいか、
意見を出し合ってみましょう。

しらべよう・みてみよう

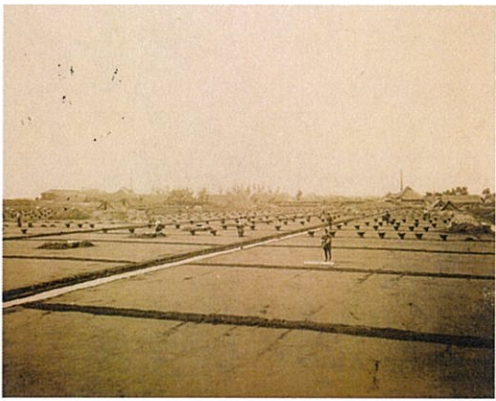
りょう 土地利用のうつりかわり

できごとについては、資料の広場の市川市のうつりかわり年表を見て、くわしく調べてみましょう。



この学習では、
 ①新しくできたもの
 ②ふえてきたもの
 ③へってきたもの
 ④なくなってしまったもの
 の4つのことに注目して調べてみましょう。

水田	住たく地や工場
林	川や池など
果樹園	干がた
畑	海
空き地	

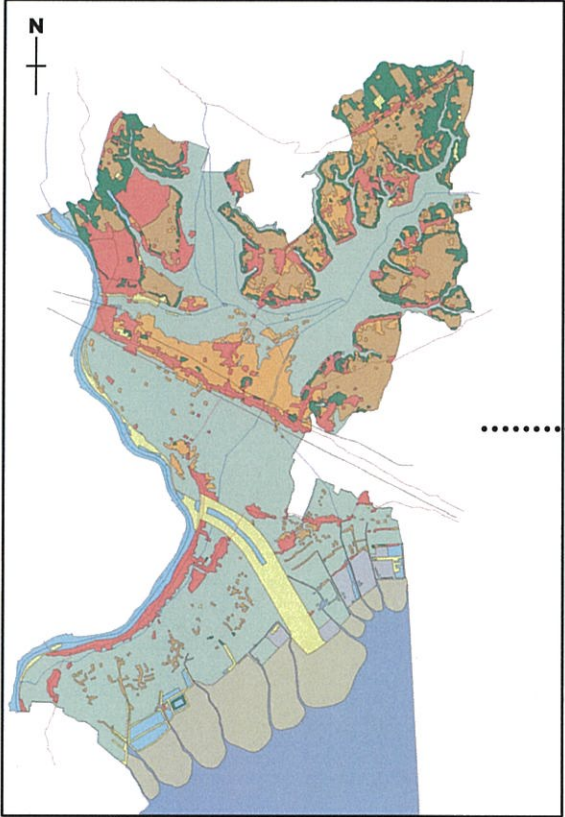


ばらき えんでん
原木にあった塩田のようす
(大正5年)

100年くらい前まで、行徳のあたりには、このような塩を作るための塩田が広がっていました。

土地利用 100年くらい前

- ◇行徳ぎょうとくで塩しお作りが行われていた。
- ◇八幡やわたで梨なし作りが行われていた。
- ◇江戸川えど ほうすいろ放水路ほうすいろができた。



たいしょう いん
大正8年のようす (国土地理院)

土地つかの使われ方は、どのようにかわってきたのか調べてみました。

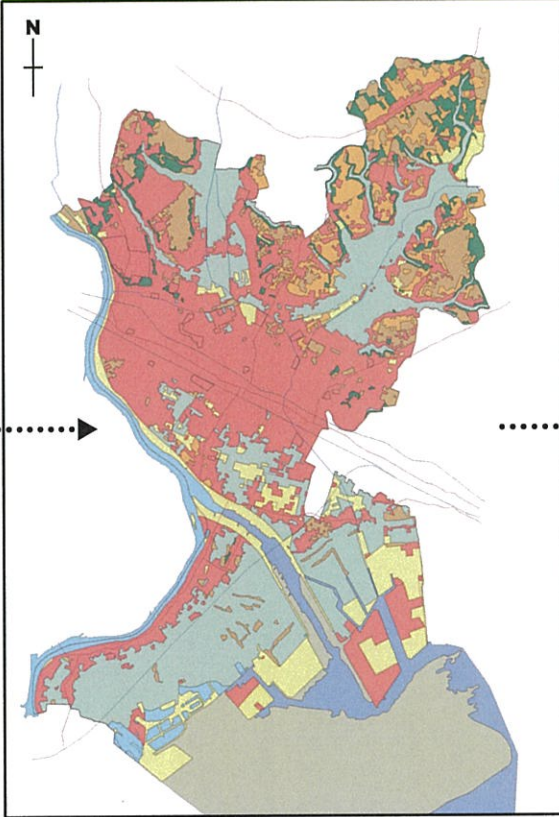
北の方には、果樹園が広がっているね。
 南の方には、水田や干がたが広がっていただね。



今では塩田を見かけないわ。どのようによすがかわったのかしら。

80年前～50年前

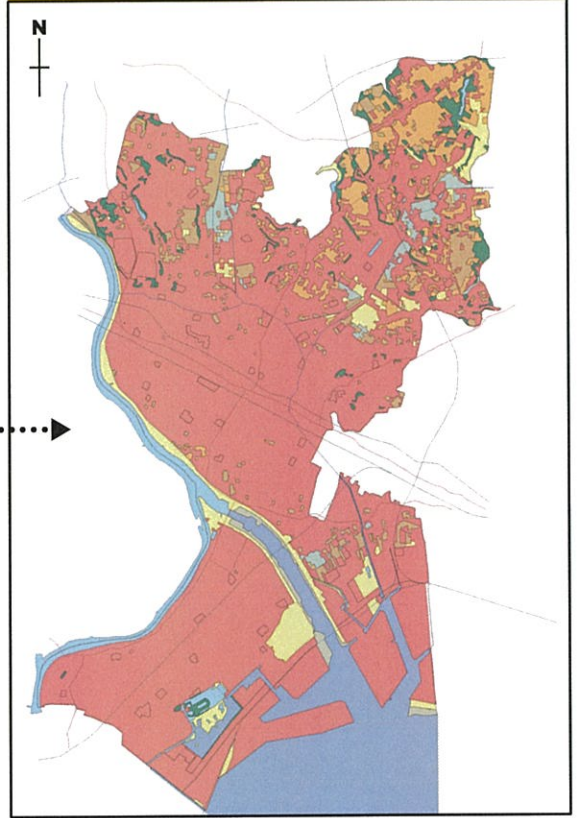
- ◇行徳海岸のうめ立て工事が行われた。
- ◇たくさんの工場がたてられた。
- ◇梨づくりが大野や大町にうつった。



しやうわ 昭和44年のようす (国土地理院)

50年前～20年前

- ◇たくさんのマンションがたてられた。
- ◇学校や図書館などの公共しせつが多かたてられた。



へいせい 平成11年のようす (国土地理院)



果樹園や水田だった場所が、住たくにかわっていったんだね。

うめ立てられた土地には、たくさんの工場がたてられたことを前に学習したね。



土地の使われ方は、どうしてこんなに大きくかわっていったのかしら。



ふたまた 二俣新町・こうや 高谷新町・ひがしはま 東浜のようす (昭和40年代)

行徳海岸のうめ立て工事によってつくられた新しい土地です。

どうろ てつどう
道路や鉄道のうつりかわり

道路や鉄道ができたことで、市川市に住む人々の生活はどのようにかわってきたのか調べてみました。

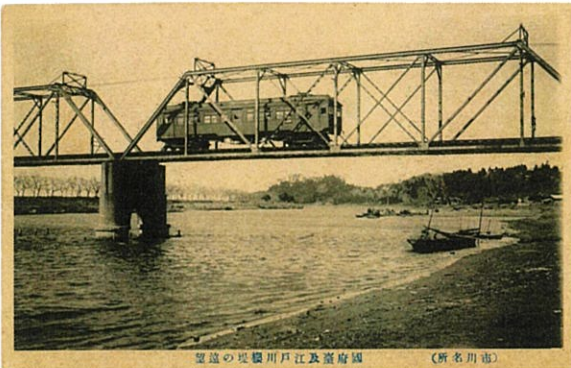


市川駅は、100年くらい前からあるんだね。

ほかの駅は、いつごろできたのかしら。



49～50ページの地図と見くらべながら、生活がどのようにかわってきたかを考えてみましょう。

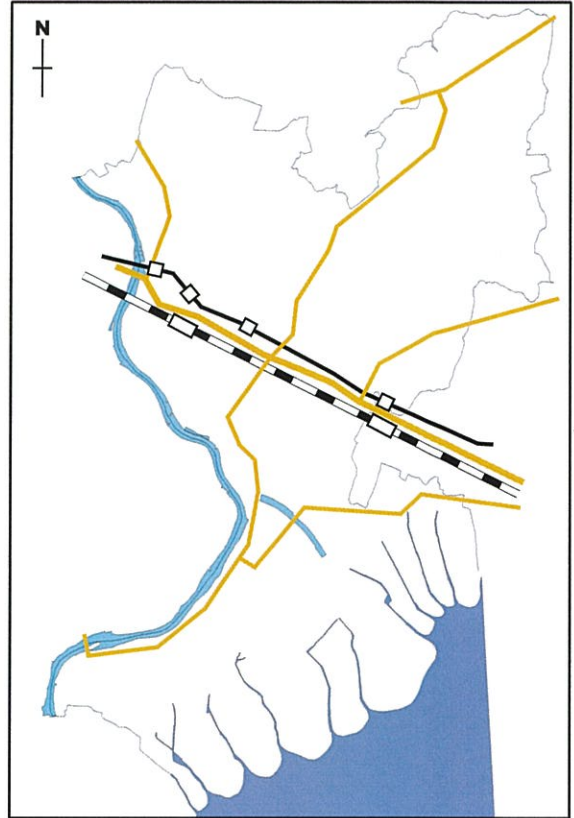


【絵はがき】江戸川をわたる京成電車
(大正10年～15年ごろ)

鉄道や道路

100年くらい前

- ◇市川駅^{えき}ができた。
- ◇京成電鉄^{けいせいでんてつ}が、市内に駅をつくり、利用しやすくなった。



大正8年のようす (国土地理院^{いん})



だんだんと、南から北の方に道路や鉄道がのびていったんだね。

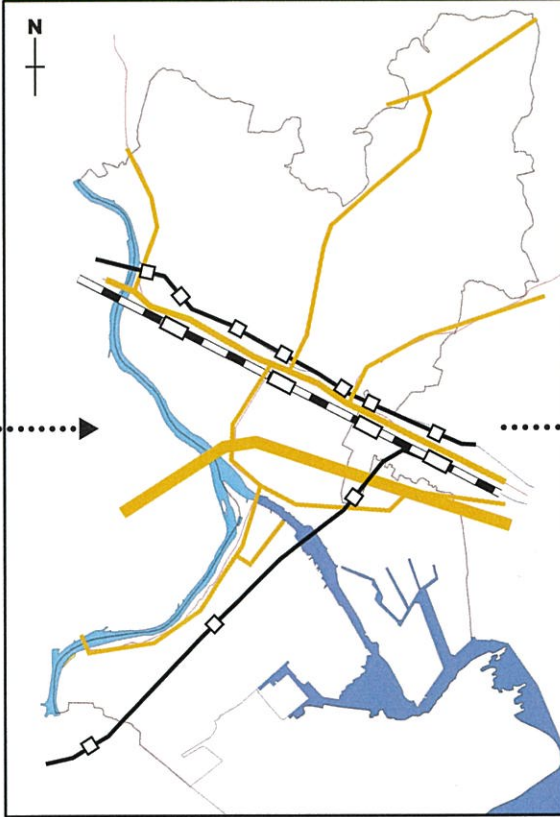
鉄道や道路ができたことと、土地の使われ方^{つか}がかわってきたことは、何か関係^{かんけい}があるんじゃないかな。



地いきの方に当時のようすをうかがいました。

80年前～50年前

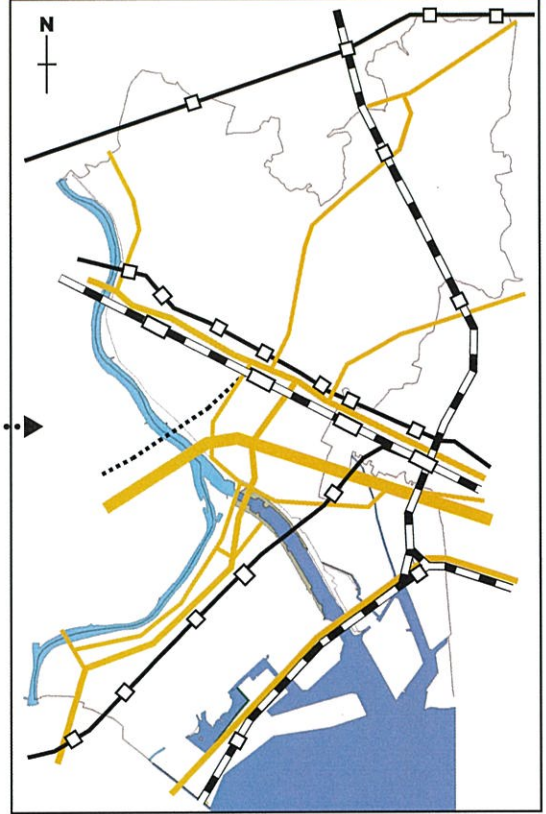
- ◇本八幡駅もとやわたができた。
- ◇東西線かいつうが開通し、行徳駅ぎょうとくができた。
- ◇京葉道路けいようができた。



昭和44年のようす（国土地理院）

50年前～20年前

- ◇武蔵野線むさしの・京葉線けいようが開通した。
- ◇北総線ほくそう・都営新宿線とえいしんじゅくが開通した。
- ◇妙典駅みょうてんができた。（平成12年）



平成11年のようす（国土地理院）

昔から市川に住む人の話

鉄道や道路せいびが整備されると、水田はたけや畑はたけに利用していた場所には、マンションや工場がたてられるようになりました。

駅もふえて、いろいろとべんりになりましたが、まちのようすは、大きくかわってしまいました。



行徳駅近くの東西線こうじ工事のようす
（昭和42年）

今では、駅のまわりを中心に、たくさんの住じゅうたくやマンションがならんでいます。

人口のうつりかわり

市川市の人口は、いつごろ、ど

のようにふえてきたのか調べてみました。

ぎょうとくかいがん
◇行徳海岸のうめたて工事が終わ

り、今のような市の形になった。

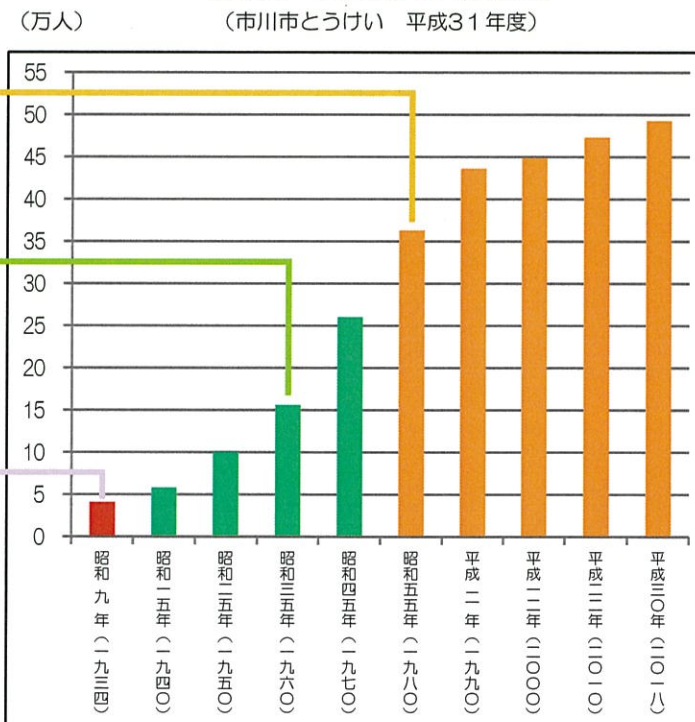
おおがしわ
◇大柏村や行徳町、南行徳町がいつ

しょになった。

やわた
◇市川町・八幡町・中山町・国分村
がいつしょになって市川市ができ

た。

市川市 人口のうつりかわり
(市川市とうけい 平成31年度)



市川市は、ちがう町や村がいつしょになってできたなんてしらなかったな。

てつどう どうろ じき
鉄道や道路ができた時期や、
じゅう じき
住たく地がふえた時期と、人口
がふえた時期は、かさなっているね。

どうしてこんなにたくさんの方が市川市に住むようになったのかしら。

やくしょ 市役所の人のお話



市川市は、市川町・八幡町・中山町・国分村がいつしょになって、昭和9年にたん生しました。当時の人口は、およそ4万人ほどでしたが、その後、大柏村や行徳町などがいつしょになったことや、都内への通勤がしやすくなったこともあり、今ではおよそ49万人の方が住んでいます。

学校や図書館など、みんなが使うためのしせつのことを公共しせつといいます。

たくやくんたちは、公共しせつが、いつごろできたのか調べてみました。



たくさんの方が住むようになって、学校もふえていったんだね。

学校のまわりには、他にどのようなしせつがあるのかな。



公共しせつは、どのようにしてたてられているのかな。



昔の市川小学校
(昭和3年ころ・100年くらい前)

100年くらい前	8校
50年くらい前	20校
20年くらい前	39校

こうのだいりょうどう 国府台運動公園	昭和25年
れきしはくぶつかん 歴史博物館	昭和57年
しぜん 少年自然の家	昭和57年
自然博物館	平成元年
メディアパーク市川	平成6年
クリーンセンター	平成6年

ちゅうおうとしょかん

中央図書館の人の話



メディアパーク市川は、平成6年にたてられました。図書館やこども館などのしせつが入った建物で、子どもからお年よりの方まで、はば広い世代の方に利用していただきやすいしせつとなっています。このような公共しせつは、市民のみなさんからの税金を使ってたてられています。

まとめよう・つたえよう

59～60ページを参考に、市のようすのうつりかわりについて調べたことをまとめてみましょう。